

おはようございます。また、新年おめでとうございます。本年もよろしく願います。

早速ですが、皆さんの中も受検した人も多い「漢字検定」を主催する日本漢字能力検定協会様が決定した昨年の漢字は「戦」でしたが、何とか令和五年は、外国で起こっている戦争や、新型コロナとの戦（いくさ）も、収束してもらうことを願っております。

さて、皆さんは、どんな冬休みだったでしょうか？

部活動、教科の学習、資格取得、進路に対する取組等、それぞれが充実した時間を過ごせたでしょうか？

他府県では土砂崩れ、また多くの交通事故や火災なども報道されてきました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。

現時点、この地域では大雪にも見舞われず、幸い自然災害の影響はほぼ無かったと思います。こうして、無事始業日を迎えられましたことに感謝し、ありがたく思っています。

本日、私からは一点です。

皆さん、「To do リスト」って知っていますか？

これは、簡単に言いますと、「自分がやるべきことやしたいことを、箇条書きにして、できたものから消していく。」大変、単純なものです。達成できたら、「ペンで線を入れて消す。」このことで、自分に達成感が味わえたり、後で見て、場合によっては時間の使い方の反省ができたり、残しておいた場合には、自分の行動や取り組んだことへの充実感、次回や来年取り組むべきことの参考にできたりと、活用の仕方次第で、有効に使えるものでもあります。

ノートの一種として文房具店に市販もされてもいますが、紙さえあれば、誰にでも簡単に作れます。紙の大きさや項目の数、横書き・縦書きなど書き方は自由で、時間の単位、午前・午後や、一日単位、週単位など、スケジュールも当然自分に使いやすいように設定ができます。ログノートや、予定を書き込む手帳などを利用したり、タブレットやスマートフォンなどでアプリを活用したりすることもできるようです。

「To do リスト」では、与えられた予定をこなしていくという考え方、いわゆる指示に従って取り組むのではなく、自発的・主体的に行動していく、前向きな姿勢での行動が、自然に促されます。

私も、普段から、To do リストに該当する、今日すべき仕事とか、近いうちにすべき仕事や準備など、要らなくなった用紙の後ろの白いページに書き込んで実践しています。

そこで、京都大学 経営管理大学院の客員教授 竹林 一（はじめ）様の解説を紹介します。この方は、立石電機（現：オムロン）などでの会社員から、関連会社の社長や、データ流通推進協議会理事等を務められ、京都大学でも教鞭を執っておられる方です。この方も、生活でTo Doリストを有効に使っておられ、効率のよい生活、仕事、学習などができるとおっしゃっています。特に、年の初め（ちょうど、この時期）に、「自分がしたいこと百個を書き出してみなさい。」とアドバイスされています。

当然、一日で完了できるものではなく、何日、何週間、何ヶ月もかかることが含まれてきます。実は、先日私も書き出そうとしたのですが、百個にはなかなか届きません。

この、「自分がしたいこと」も、完了できたら消していくのですが、これにより、自分の短期・長期的な予定が立てられるだけでなく、自分の目標、また、なりたい理想の自分も、展望できることにつながると、解説されています。さらには五年後、十年後、二十年後など、将来の自分を展望してみるのもよいと思います。自分の将来の夢とリンクするTo Doリストができれば、信頼できる友だち等と、お互い共有して夢を語りあったり、お互いの生き方を参考にしたりすることも可能です。この一月は、そういった目標を立てるのに適した時期と思いますので、是非、皆さんも、To Doリスト百を実践してみてください。

ところで、本日始まった三学期は、大変短い期間です。しかし、三年生は卒業を目前にする、一・二年生は進級を前にする、まとめ・締めくり・修了の時期として、もちろん学年成績が定まる学期、就職して社会に巣立ったり、上級学校という新天地での活躍をしたりするため、また新学年に向かう、大切な助走期間でもあります。

現在、報道されているとおり、コロナの感染者も増加の傾向です。この時期冬場は、コロナだけでなくインフルエンザや風邪にも罹りやすい時期でもあります。どうか、体調管理も大切な役割・力であることを認識し、できるだけ学校を休むことなく、令和五年のよいスタートをきってもらうとともに、よい形での令和四年度の締めくりの学期としていただきますよう、お願いしておきます。

私からの式辞は以上です。

令和五年一月十日

校長

上林 秋男